

日南町美術館

特別展

大山開山1300年祭

名刀展

森井父子三人の仕事

研師 徳訓 / 研師 鐵太郎 / 鞆師 敦央

拵 黒漆塗沢瀉紋切金時絵合口短刀拵



刀銘

(表) 備前國住長船五郎左衛門尉清光作
(裏) 天文廿年八月吉日 室町時代

太刀銘 因州住景長 鎌倉時代

平成30年 11月2日(金)~12月2日(日)

時間：午前8時30分~午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日

入館料：一般 500(400)円、高校生 300(250)円、中学生以下は無料

() は20名以上の団体、障がい者とその付添い1名の方の割引料金です

関連事業 (詳細はチラシ裏面をご覧ください)

オープニングセレモニー&ギャラリートーク 11月2日(金) 10:00~

刀職人 森井父子のトークショー 11月2日(金) 13:00~15:00

日本刀研師・鞆師の実演 11月3日(土) 13:00~15:00

日本刀の鑑賞&手入れの仕方 11月11日(日) 13:00~15:00

刀剣の歴史講座 11月18日(日) 13:00~15:00



日南町美術館

689-5212 鳥取県日野郡日南町霞785番地 TEL 0859-77-1113 FAX 0859-77-1115 <http://culture.town.nichinan.tottori.jp/>

主催 / 日南町、日南町教育委員会、日南町観光協会

後援 / 株式会社中海テレビ放送、BSS山陰放送、朝日新聞鳥取総局、読売新聞米子支局、エフエム山陰、山陰中央新報社、DARAZ FM 毎日新聞鳥取支局、産経新聞鳥取支局、鳥取県教育委員会、TSK山陰中央テレビ、新日本海新聞社、日本海テレビ



伯耆国「大山開山」年祭

刀剣は三種の神器のひとつに数えられ、一方では富や権力の象徴として存在し、又固有の美しさ故に大切に保存され伝世した経緯があります。武器として発展した刀剣ですが、現在では我が国に限らず世界より「鉄による最高の芸術品」と評価されています。

それは製鉄や鍛錬、研磨などの各種技術から発せられる「用」としての利器のみにとどまらず、日本人の美意識と精神性を内包させ昇華した事による独特の「美」の形成に起因するものと考えられます。

鳥取県日野郡一帯は、大正時代までたたら製鉄が盛んに行われていました。その中でも日南町は大規模なたたら製鉄が行われ、町は非常に栄えていました。そして旧幕時代以前より日南町印賀の地より産する玉鋼は「印賀鋼」と云われ、その良質さで一等群を抜く存在として全国にその名を知られていました。

本展は、大山開山1300年を機に、大山の裾野に広がる豊かな自然がもたらした「たたら製鉄」で栄えたこの誇り高き印賀鋼の故郷日南町に於いて、研師の森井偲訓と、その子息である研師の鐵太郎、鞘師の敦央の親子三人が手掛けた刀剣の仕事をご紹介します。

日本刀の美と悠久の歴史と文化の一端に触れていただけましたら幸いです。

【出品録】

研師／森井偲訓

1. 太刀 銘 因州住景長 長さ 77.0cm 鎌倉時代
2. 刀 無銘 伝 兼光 長さ 75.6cm 南北朝時代
3. 脇差 銘 備前国住義次 (折返し銘) 長さ 46.1cm 南北朝時代
4. 刀 銘 (表)備前国住長船五郎左衛門尉清光作 (裏)天文廿年八月吉日 長さ67.5センチ 室町時代
5. 短刀 銘 國廣 長さ26.3センチ 江戸時代
6. 刀 銘 (表)近江守助直 (裏)寛文十年八月日 長さ72.1センチ 江戸時代
7. 刀 銘 (表)美濃守藤原壽格 (裏)寛政八年丙辰十一月日於 武州以伯劔印賀鋼鐵造之 江戸時代 鳥取県立博物館所蔵
8. 短刀 銘 (表)伯耆國藤原吉幸 (裏)慶應二年二月日 長さ 28.8センチ 江戸時代
9. 短刀 銘 (表)宮入行平作 (裏)昭和五十年秋 長さ26.5センチ 日南町美術館所蔵

研師／森井鐵太郎

1. 太刀 銘 守次 長さ69.8cm 鎌倉時代
2. 刀 無銘 伝 則房 金象嵌 (表)今大君幕下所常佩之御刀也 延寛庚申十一月十三日 召正俊干御前恩命之餘御手自賜之 (裏)古河城主從四位下待從筑前守堀田氏紀正俊拝載之 長さ72.0cm 鎌倉時代
3. 太刀 銘 真守 長さ73.3cm 鎌倉時代
4. 薙刀直し脇指 銘 大和尻懸住 (以下切) 則長 長さ50cm 鎌倉時代
5. 短刀 銘 (表)備州長船兼光 (裏)延口五年十二月日 長さ25.9cm 南北朝時代

鞘師／森井敦央

1. 白鞘
2. 拵下地
3. 拵 黒漆塗牡丹蒔絵合口短刀拵
4. 拵 黒漆塗沢瀉紋切金蒔絵合口短刀拵
5. 拵 黒漆塗丸に違い鷹の羽紋蒔絵打刀拵
6. 拵 黒漆塗打刀拵



短刀 銘 宮入行平作



森井 偲訓 (もりい しくん) 1947年 米子市生まれ
 1966年 刀剣研磨の手ほどきを受ける。
 1967年 佐藤定夫師の内弟子。
 1972年 独立。
 2008年 公益財団法人 日本刀文化振興協会評議員。
 2010年 公益財団法人 日本刀文化振興協会主催文化庁後援の公募展「第1回新作日本刀 研磨 外装 技術展覧会」に審査員・主催者出品、以来連続招待出品し現在に至る。
 2017年 公益財団法人 日本刀文化振興協会理事。



森井 鐵太郎 (もりい てつたろう) 1976年 米子市生まれ
 1995年 人間国宝(故)藤代松雄師を父に持つ藤代興里師に弟子入り。
 1998年~2002年 財団法人 日本美術刀剣保存協会主催「刀剣研磨・外装技術発表会」で努力賞を連続受賞。
 2003年~2006年 「刀剣研磨・外装技術発表会」で優秀賞を連続受賞。
 2007年 「刀剣研磨・外装技術発表会」で特賞受賞。埼玉県狹山市にて独立。
 2010年 公益財団法人 日本刀文化振興協会主催「第1回新作日本刀 研磨 外装 技術展覧会」研磨の部で金賞。(11、14、16年金賞。12、15年銅賞。13、17年特賞、公益財団法人 日本刀文化振興協会会長賞。18年銀賞)
 2018年 実弟で鞘師の敦央氏とともに、ポーランド、フランス(パリ：ギメ東洋美術館など)にて実演。



森井 敦央 (もりい あつひろ) 1980年 米子市生まれ
 1999年 選定保存技術保持者の鞘師高山一之師に弟子入り。
 2003年 財団法人 日本美術刀剣保存協会「刀剣研磨・外装技術発表会」白鞘の部で努力賞。
 2004年~2007年 「刀剣研磨・外装技術発表会」で優秀賞を連続受賞。
 2007年 東京国立博物館と契約、刀剣の保存修復に従事し、現在に至る。
 2010年 「第1回新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」白鞘の部で金賞。(11、13年、15-17年金賞、12年銀賞、14年銅賞)
 2011年 神奈川県横浜市にて独立。
 2012年 イギリス大英博物館と契約、日本刀の調査、修復を行う。
 2015年 「第6回新作日本刀刀職技術展覧会」拵の部で特賞、坂城町教育委員会教育長賞。
 2018年 「第9回新作日本刀刀職技術展覧会」白鞘の部で特賞、公益財団法人日本刀文化振興協会会長賞。拵下地の部で特賞、坂城町長賞。

関連事業

オープニングセレモニー&ギャラリートーク

11月2日(金) 10:00~
 会場/日南町美術館
 内容/関係者・来賓挨拶、ギャラリートーク
 申し込み不要・要入館料・定員無し

刀職人 森井父子のトークショー

11月2日(金) 13:00~15:00
 会場/日南町総合文化センター多目的ホール
 内容/森井父子と日南町長、当館学芸員による刀職人の仕事や日本刀についての座談会。
 申し込み不要・無料・先着80名

日本刀研師・鞘師の実演

11月3日(土) 時間: 13:00~15:00
 会場/日南町美術館
 内容/研師 森井偲訓氏、研師 森井鐵太郎氏 鞘師 森井敦央氏による実演。
 申し込み不要・無料・先着15名

日本刀の鑑賞&手入れの仕方

11月11日(日) 時間: 13:00~15:00
 会場/日南町総合文化センター第4・5研修室
 講師/研師 森井偲訓氏、研師 森井鐵太郎氏
 内容/日本刀の見方と扱い方を学ぶ。手入れの仕方は所有する刀剣がある方はご持参ください。
 要事前申込み・無料・先着15名

刀剣の歴史講座

11月18日(日) 時間: 13:00~15:00
 会場/旧木下家(阿昆縁)
 講師/研師 森井偲訓氏
 鳥取県立博物館 学芸員 来見田博基氏
 要事前申込み・無料・先着30名

事前申込みの方法は、氏名、住所、電話番号を美術館へ電話又は電子メールでお送り下さい。

日南町美術館



日南町役場横「日南町総合文化センター」内
 〒698-5212

鳥取県日野郡日南町霞 785 番地

TEL 0859-77-1113

FAX 0859-77-1115

【E-mail】 s1052@town.nichinan.lg.jp

【HP】 <http://culture.town.nichinan.tottori.jp/>

交通案内 【電車】 JR伯備線「生山駅」から車で5分

町営バス「多里線」「山上線」で「日南町役場前」下車すぐ

巡回バス(平日のみ9:00-15:00)「文化センター前」下車すぐ

アクセス



【車】 中国自動車道「新見IC」から(県道8号線)40分
 「庄原IC」から(国道183号線)1時間10分
 米子自動車道「江府IC」から30分

